⚠ ご使用になる前に必ずお読みください。

アキレスジョイント使用上の注意事項

製品取り扱い上の注意

・段ボール開梱時、カッターナイフは使用しないでください。内部の製品を傷付けるおそれがあります。
・製品は、直射日光、有機溶剤、酸、アルカリ、油等に曝されない冷暗所に保管してください。
・製品を保管中は、変形の原因となるような重量物を載せないでください。

製品施工上の注意

・アキレスジョイントは屋内配管専用です。屋外で使用しないでください。AP-RSタイプは除く(p.16)。
・アキレスジョイントは埋設には対応しておりません。
・アキレスジョイントは原則塩ビ管との接続に合わせて設計しております。鉛管や鉄管には対応しておりません。
(ANSシリーズCタイプは耐火二層管専用、ANSシリーズAタイプはMD継手専用、AUシリーズはカット後銅管と接続可能です。)
・保管、運搬、施工時に損傷を与えた製品は、使用しないでください。
・冬期の施工時、硬化によって接合しにくい場合は、温湯等で10～30℃程度に温めてください。
柔軟性が復元し接合しやすくなります。また、バーナー等の火気による加熱は絶対に行わないでください。
・極端な曲げ配管は避けてください。(p.26-p.27のアキレスジョイント仕様一覧をご参照ください)
・横引き配管の際は弛みが生じないように取付けてください。
・アキレスジョイントは一般雑排水用です。有機溶剤等が使用される配管には使用しないでください。
特殊な排水用に使用される場合は事前に弊社までお問い合わせください。
・火気、高温、直射日光に曝される場所では使用しないでください。
・圧力配管には使用しないでください。
・締め付けバンドのビス位置を水流の上方にセットし固定してください。
・常時60℃以上の排水が流れる場所では使用しないでください。

接着剤使用上の注意

・接着剤を使用すると、接合し易くなる他、シール作用による漏水防止、脱落防止等の効果があります。
・接着剤を2度塗りすれば接着強度が上がりますので、2度塗りをお奨めします。(p.29参照)
・塩ビ管と接合する場合は硬質塩ビパイプ用接着剤を使用してください(p.29 参照)
(洗濯機防水パン接続用　内面フラット構造タイプ(p.4)は、ソケット部分の接合を除いて接着剤不要です。)
・銅管、陶器等と接合する場合は、クロロプレン系接着剤を使用してください。(p.29参照)
・AK-3775SPF、AK-1575LX、AK-2075LXを使用し、塩ビ管、陶器等と接合する場合は、
ビニール用接着剤を使用してください。(p.29参照)
・接合部に接着剤を塗布し、乾く前に接合してください。
・接着剤は付けすぎないように注意し、余分な接着剤は硬化前によく拭き取ってください。
・接着剤を使用した場合でも、バンドは必ず使用し、確実に締め付けてください。
・電動工具等を用いた締め付けの目安は1～2N・mです。
・接着剤の乾燥時間は24時間以上取ってください。
・接着剤メーカーの取扱説明書の記載内容を守ってください。

施工後の注意

・施工後、接合部に隙間がないこと、バンドに弛みがないこと、製品に傷がないこと等を確認してください。(バンドに弛みがあれば、漏水の原因となる可能性があります)
・接着剤が完全に硬化した後、排水してください。
・高圧洗浄には、ご注意ください。(詳細はp.28参照)

使用上の注意

・アキレスジョイントは一般雑排水用です。有機溶剤、多量の酸、アルカリ、油等は流さないでください。
・溶剤や洗浄剤の種類によっては劣化を促進させるおそれがあります。また使用状況によっては
製品を収縮させる可能性もありますので、使用後は製品に異常がないか点検してください。
・アキレスジョイントは軟質素材を使用していますので、鼠害に遭わないよう、鼠の侵入防止や、鼠忌避剤の使用等の配慮をお願い致します。
・塩ビ管のつまり(つまりによる逆流含)は、漏水の原因となる可能性がありますのでご注意ください。

＊建築基準法、消防法については管轄する関係行政機関とあらかじめご相談の上、ご使用ください。
＊本カタログに掲載している図面には設計上の寸法を表示しています。実際の製品寸法とは誤差がございます。